



エコポロ展2016での啓発活動

(特非)グローバル・スポーツ・アライアンス

スポーツ界での グリーン電力活用促進事業

一般助成

3年目

知識の提供・
普及啓発

発電体験会への
参加者数

550人

作った電力量の可視化、管理を
スマホアプリで行うシステム構築 1件

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

地球温暖化防止のため、グリーン電力の活用は有効な手段である。グリーン電力の活用が十分になされていないスポーツ界でのグリーン電力活用促進を図る。

目標

人力発電啓発活動を通じて電気を作ることの大変さや大切なことを身をもって体験してもらいグリーン電力の活用を促す。また「スポーツのエネルギーで電力！」が普遍的なものとなる社会づくりを目指す。

活動内容

スポーツ界でのグリーン電力普及を目標に自転車人力発電機器を3台作成、環境展示会、スポーツ大会等で啓発活動を実施。発電量を数値で表示管理共有できるアプリケーションを開発。実験にとどまらず蓄電も可能な実用に適する機器の開発に取り組んだ。海外、IOCやキューバでの環境会議で成果発表。地球環境基金シンポジウムにパネリストとして参加し他パネラーと意見交換。ケニアで環境啓発活動実施し発電体験機器を寄贈。



競技者用3本ローラー台
発電機の開発

達成できなかったこと

いろいろなスポーツで発電・蓄電する方法を考えるコンテスト「スポーツエネルギー大賞」の実施を目指したが評価方法や評価基準設定が難しく来期に持ち越しとした。

今後の展望

いろいろなスポーツで発電・蓄電する方法を考えるコンテストの実施。実用機器の開発による社会変革。

成果と工夫した ポイント



成果

「アースデイ東京」など6イベントに出展、150W発電でLED全点灯など工夫、延べ参加者数550人。スマホアプリにより発電量を可視化、管理するなどの活動を通じ確実にグリーン電力への理解が高まった。

工夫

発電体験会では子どもから参加できるよう機器を開発。瞬間的な発電量の表示とともに総発電量も表示。